

# 日本共産党

## 渡部 和子

### 放射能汚染対策

**問** きめ細かな測定と汚染マップの作成が必要ではないか。

**答** 市全体を対象にした除染計画の策定の中で検討していく。

**問** 我孫子市では、町会から要望があれば、職員が出向いて放射線を測定している。市民に測定器を貸し出してほしい。

**答** 効果的な方法を研究する。

**問** 年間被曝線量の推計は、子どもたちの生活実態に即して行うべきではないか。

**答** 積算線量は、一施設一台で行っているが、今後はもう一台追加する。



放射能測定中

**問** 放射能対策に係る費用は、すべて東電に請求すべき。

**答** 基本的には原因者である東電に請求するのが筋だと思う。

**問** 耐震診断・補強工事

**答** 戸建て住宅の耐震診断・補強工事への助成拡大と、対象をマンションにも広げてほしい。

**問** 戸建て住宅に対する補助の拡充は検討していく。マンションに対しては難しいと考える。

## 日下 みや子

**問** ●全市的な放射線量低減計画を定し、全市的市民ぐるみの放射線量低減計画を立てるべきでは。

**答** 国の緊急方針を受け、年間被曝線量60%減少を目指し、計画策定に向けて取り組んでいる。

**問** ●手賀の杜に学校建設を

**答** 風早北部小の過密化解消、手賀の杜60名を越える児童の安全通学、地域の公共施設の必要性等あらゆる面で学校建設は教育的で合理性があるのでは。

**問** ●隣接地に敷地を拡大し仮設校舎建設の予定。遊具の移動等で運動や遊びスペースを確保し通学路は歩道が整備されている。

**答** ●事業仕分けで福祉関係削減があるのではないか。

**問** ●2回の事業仕分けで市民サービスが多く削られた。3回目の事業仕分けによって、福祉関係事業が大きく削られる危険があるのではないか。

**答** 評価結果を受け所管部署の考え等を確認し経営管理本部で決定。来年度予算に反映する。

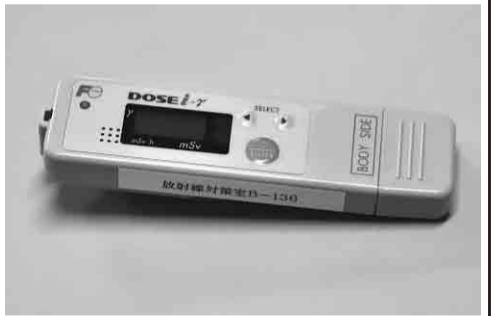


8月に行った事業仕分け

## 武藤 美津江

**問** ●放射能対策について

**答** 市民の健康被害を防ぐ立場で、測定器の貸し出しや具体的



放射線量測定器具

**問** ●太陽光発電補助金について

**答** 早急に除染計画を策定し、市内放射線量のさらなる低減を目指していく。

**問** ●太陽光発電の補助金の廃止は、適切だったのか。

**答** 事業としての優先順位が低いと判断し、廃止した。

**問** ●国民健康保険について

**答** 22年度の国保会計は13億の黒字。1世帯1万円の引き下げは十分可能ではないか。

**問** ●現在の収支状況では、保険料の引き下げは困難である。

**答** ●介護保険について

**問** ●特別養護老人ホームの待機者は1286人である。介護疲れによる事件が絶えない。特養ホームの増設をすべきでは。

**答** 次期計画における介護保険料とのバランスを勘案しながら、整備を進めていきたい。

## 平野 光一

**問** ●被曝低減対策

**答** 市の対策は全く問題ないという認識がある。市長の市政報告の「東葛地区の放射線量では外部被曝による発がんの増加は考えられない」という発言も問題だ。

**問** ●市の対策は全く問題ないという認識がある。市長の市政報告の「東葛地区の放射線量では外部被曝による発がんの増加は考えられない」という発言も問題だ。

# 政和会

## 上橋 泉

**問** ●多くの市民に心配をかけたことは反省する。この低線量被曝では安全ではないかという考え方にのっとり、大丈夫だと認識し、そのような表現をとった。

**問** ●東海第二原発の廃炉を求めよ

**答** 東海第二原発は、福島第一と同様の重大事故の可能性があった。廃炉を求めるべきだ。



放射能測定中

**問** ●東海第二原発は止まっている。全国54基で動いているのは11基。廃炉にしても何の問題もないではないか。

**答** 事故が起きたときの影響は甚大だが、廃炉の影響については認識していない。

**問** ●市職員の自発性

**答** 市長は議会で市職員が自発性に欠けると述べた。タウンミーティングでは職員の収賄事件に関し、氷山の一角だと述べた。職員の職務姿勢について他人事のような批判をすると、職員は勤労意欲を失う。なぜ職員に対する不平を繰り返す述べるのか。

**問** ●予算を削減し、事業を何らかの優先順位をつけなければならぬ段階では、物事を分析していくといった部分の問題意識を持つ点では今の職員は少し足りないと感じている。

**問** ●ツイッター・ブログに書き込みされる市長発言

**問** ●市長が自分のツイッターに「放射能で騒いでいる人は二一トと同じだ」と書き込んだことがマスコミで大問題になっている。ツイッター・ブログでの発言も慎重にすべきではないか。

**答** 私が書いたブログの一部を



敷地内の禁煙の看板

**問** ●柏の葉小学校建設予定地の汚染物質処理費償還の住民訴訟

**答** 予定地の地権者と汚染物質

## 中村 昌治

**問** ●放射線汚染対策

**答** 学校の自治体は受動喫煙防止措置を条例化した上で実施している。当市がこれを条例化せずに実施したのは憲法違反では。

**問** ●本市は、市の所管している公の施設のみ対象としている。今後、必要に応じて条例等も必要になると思う。

**問** ●放射線汚染対策

**答** 測定の結果空間放射線量の高い箇所については、順次、草刈り、土砂の撤去や水洗いをして、低減対策を図っている。



南部クリーンセンター

**問** ●除染による汚染された表土、木・草等の保管方法がまちまちで地下水汚染等の二次災害のおそれがある。現在の保管状況及び今後の保管方法は。

**問** ●草や枝等は焼却せずに北部クリーンセンター敷地内に保管。南部クリーンセンターでは、敷地内に保管する場所がないため、柏市第二最終処分場(若白毛地先)に仮保管しており、搬入量は、9月15日現在で約380トン弱。汚染土の最終処分については、専門家の意見を参考にしながら来年1月1日施行予定の放射能物質に関する法律の枠組みに沿って処分を進めていくことが想定される。

**問** ●一般住宅の除染対策は。また、U字溝の流末の調査について、手賀沼を含めて調査結果は。

**答** ●各家庭の除染対策については、早急に検討する。排水路等については、現在測定等行っており、手賀沼の管理そのものが県であり市では調査していない。

**問** ●風早北部小学校教育環境問題

**答** ●児童生徒数が平成28年度にピークを迎えるまで、用地を借り地しプレハブ教室で対応していくとの方針が示された。校舎の老朽化、校庭や体育館の拡張などさまざまな教育環境を整備する必要があり、学区の中央に北部小学校を移転するか手賀の杜に小学校を建設すべきと考えるが、教育委員会としてどう考えているのか。

**問** ●拡張する仮設校舎敷地に新たな運動場の設置や校門周辺の改良工事、屋上の利用等より一層スペースの確保に努めることにより、児童数増加への対応が十分可能と考えており、移転計画はない。

**問** ●市道の除草

**答** 市道の路肩に草木などが覆いかぶさり交通の妨げとなっている。早急に草を刈るべきでは。

**問** ●安全性を考慮し、優先順位をつけて除草している。